# 公的個人認証サービス
# 利用者クライアントソフト Ver2.5
# インストール手順書
# (Windows をお使いの方向け)

第1.0版

公的個人認証サービス　指定認証機関
財団法人　自治体衛星通信機構

－変更履歴－

| 版数 | 変更日付 | 変更内容 |
|---|---|---|
| 1.0 | 2013.12.01 | 新規作成 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

－　目次　－

第１章　　はじめに ..... 1
第２章　　手順概要 ..... 3
第３章　　JPKI 利用者ソフトのインストール ..... 4
第４章　　JPKI 利用者ソフトの起動 ..... 10
第５章　　JPKI 利用者ソフトのアンインストール ..... 14
付録１．システム環境変数「Path」値の長さの制限について..... 17
付録２．アップデートについて..... 18
付録３．IC カードリーダライタ設定について ..... 23

# 第１章　はじめに

公的個人認証サービス利用者クライアントソフト（以下、JPKI 利用者ソフト）についての最新情報は「公的個人認証サービスポータルサイト（以下、JPKI ポータルサイト）」（http://www.jpki.go.jp/）にてお知らせいたします。

JPKI 利用者ソフトのインストールを始める前に、JPKI 利用者ソフトの＜前提ハードウェア＞および＜前提ソフトウェア＞を確認してください。下表に該当しないパソコンをお使いの場合、JPKI 利用者ソフトはうまく動かないことがあります。

＜前提ハードウェア＞

| | |
|---|---|
| CPU | Intel Pentium 300MHz 以上のプロセッサを推奨 |
| メモリ | 128M バイト以上の RAM を推奨 |
| ハードディスク | 5M バイト以上の空き容量(※1) |
| ディスプレイ | 解像度 800×600 ドット以上、色数 256 色以上 |
| ネットワーク | インターネットに接続できる環境にあること |
| IC カードリーダライタインターフェース | USB や RS-232C など、IC カードリーダライタを接続するためのインターフェースを備えていること |
| IC カード | 公的個人認証サービスカードアプリケーションを搭載し、公的個人認証サービスの電子証明書が格納された IC カード |
| IC カードリーダライタ(※2) | 以下の条件を満たす IC カードリーダライタ<br>・ IC カードのインターフェース(非接触型、接触非接触両対応型)に対応していること<br>・ PC/SC 対応 IC カードリーダライタ(※3)あるいは NMDA 対応 IC カードリーダライタ(※4)であること<br>・ USB や RS-232C など、パソコンに接続するためのインターフェースを有すること<br>・ IC カードリーダライタと通信するためのドライバソフトウェアが提供されていること<br>・ IC カードの搬送方式が手動挿入/手動排出タイプまたは自動挿入/自動排出タイプであること<br>・ IC カードを挿入するスロットの数は 1 つとし、1 度に挿入できる IC カードは 1 枚であること |

※1 本ソフトウェアのインストールに必要となるディスク容量です。IC カードリーダライタのドライバソフトウェア等で必要となるディスク容量は含みません。

※2 JPKI 利用者ソフトをご利用になるためには、IC カードおよび IC カードリーダライタが必要となります。（IC カードリーダライタの接続方法およびドライバソフトウェアのインストールについては、お使いの製品の設定手順書等に従ってください。）

※3 Personal Computer/Smart Card の略。

※4 New Media Development Association の略。(財)ニューメディア開発協会「IT 装備

都市研究事業 リーダライタ共通インターフェース仕様書 1.1 番[平成 14 年 5 月 29 日]」に対応した IC カードリーダライタのことです。

＜前提ソフトウェア＞

対応する OS、ブラウザ、JRE（Java 実行環境）については次の URL を参照のこと。

http://www.jpki.go.jp/download/win.html

## 第２章　手順概要

手順の概要は以下の通りです。

・JPKI 利用者ソフトのインストール
JPKI 利用者ソフトをインストールします。JPKI 利用者ソフトのインストール手順については、本手順書「第３章　JPKI 利用者ソフトのインストール」を参照してください。

・IC カードリーダライタドライバのインストール
お使いになる IC カードリーダライタのドライバソフトウェアをインストールします。IC カードリーダライタの接続方法およびドライバソフトウェアのインストール方法については、お使いになる製品の設定手順書等に従ってください。
（既に IC カードリーダライタのドライバをインストールされている場合、本手順は不要です。）

・JPKI 利用者ソフトの起動
JPKI 利用者ソフトを起動します。JPKI 利用者ソフトの起動方法および IC カードリーダライタの設定方法については、本手順書の「第４章 JPKI 利用者ソフトの起動」や JPKI 利用者ソフトのヘルプ等を参照してください。

（注意事項）
JPKI 利用者ソフトの一部機能を利用するためには JRE（Java の実行環境）のインストールが必要になります。JRE のインストールが必要な機能の詳細については、JPKI 利用者ソフトのヘルプ等を参照してください。また、JRE のダウンロード方法およびインストール方法については、Oracle 社のホームページを参照してください。
なお、JPKI ポータルサイトにダウンロード方法やインストール方法についての参考情報を掲載しています。（http://www.jpki.go.jp/e-apply/jre.html）

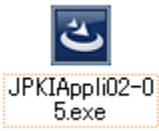
## 第３章　JPKI 利用者ソフトのインストール

JPKI 利用者ソフトのインストールを行います。(本章では、Windows7 SP1 をお使いの場合の例を示します。)

必ず Administrator グループのユーザでログインし、インストールを行ってください。(Administrator グループ以外のユーザでインストールを行うことはできません。)

(1) Windows 上で起動しているすべてのソフトウェアを終了します。(それぞれのソフトウェアの終了方法については、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。)

(2) JPKI ポータルサイトからダウンロードしたエクスプローラ等を利用し、実行ファイル“JPKIAppli02-05.exe“をダブルクリックしてインストーラを起動してください。



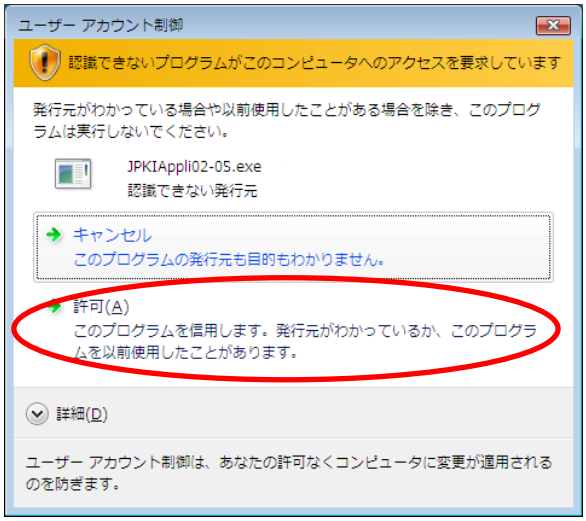

(注意事項)

本利用者ソフトは旧バージョン等からアップデートする事が可能です。手順については付録２を参照してください。

WindowsVista 以降をお使いの場合はユーザアカウント制御ダイアログが表示されます。WindowsVista の場合【続行(C)】、Windows7 または Windows8 の場合は【はい(Y)】ボタンをクリックすると JPKI 利用者ソフトセットアップダイアログが表示されます。

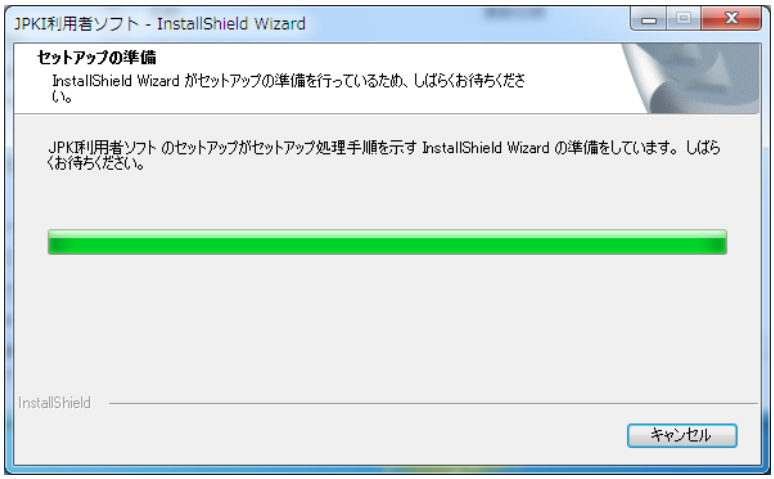
（注意事項）

WindowsVista 以降をお使いの場合、以下のユーザーアカウント制御ダイアログが表示される場合があります。

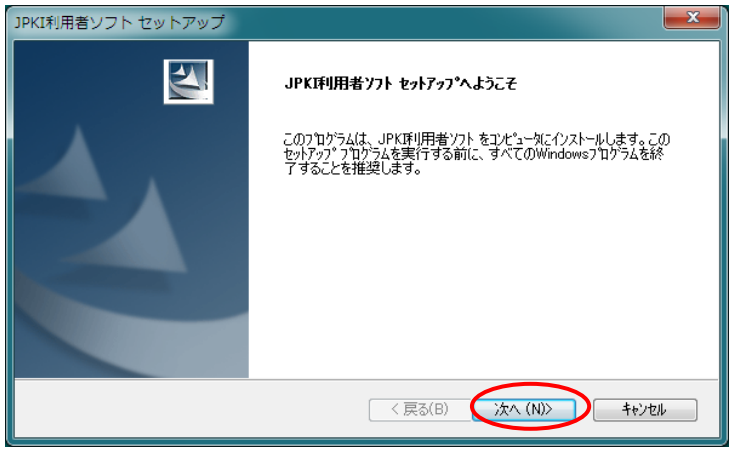



JPKI ポータルサイトからダウンロードした“JPKIAppli02-05.exe“を実行していることを確認し、【許可 (A)】ボタンをクリックすると、JPKI 利用者ソフトセットアップ画面が表示されます。

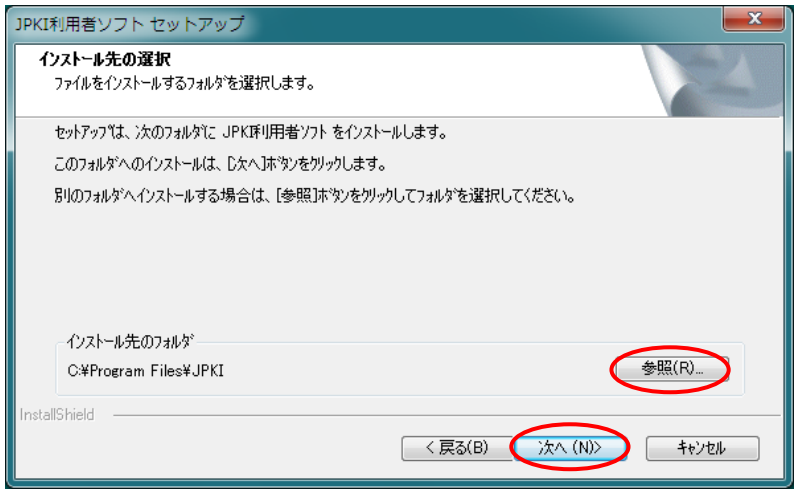
(3) JPKI 利用者ソフトセットアップ画面が表示されます。



(4) 【次へ(N)】ボタンをクリックして、次画面に進みます。



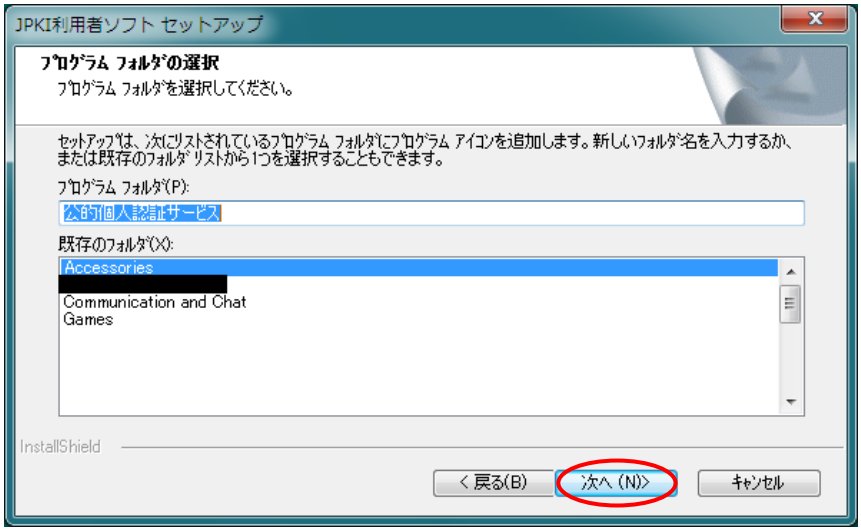

(5) インストール先を確認し、【次へ(N)】ボタンをクリックして次画面に進みます。
インストール先を変更する場合は、【参照(R)】ボタンをクリックし、インストール先を決定してください。



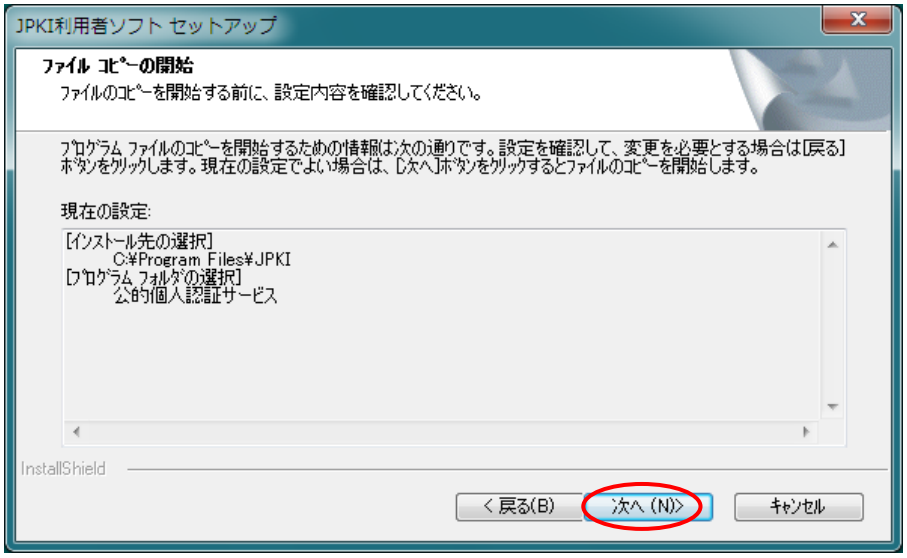

（注意事項）
システム環境変数「Path」値の長さの制限を越えてしまう場合、エラーメッセージが表示されることがあります（付録 1 参照）。

（注意事項）
旧バージョン等の JPKI 利用者ソフトが既にインストールされている環境にインストール（アップデート）する場合、インストール先の選択はできません。

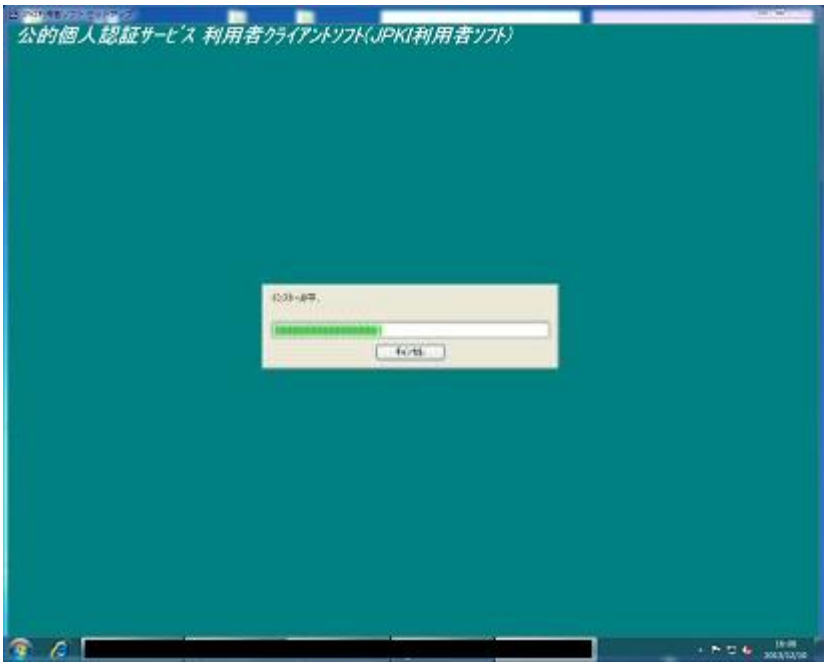
(6) プログラムフォルダを確認し、【次へ(N)】ボタンをクリックして次画面に進みます。
プログラムフォルダ名を変更する場合は、“プログラムフォルダ”欄に変更するフォルダ名を入力してください。




(7) 設定内容を確認し、【次へ(N)】ボタンをクリックして次画面に進みます。

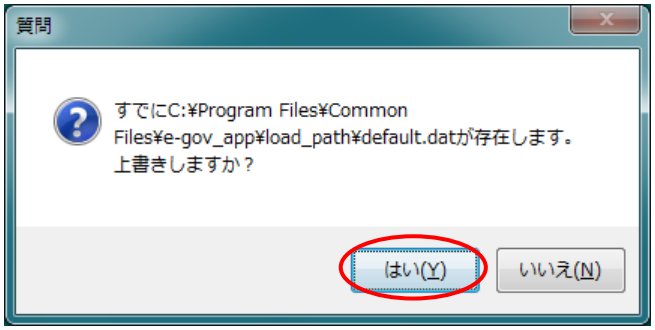


(8) JPKI 利用者ソフトのインストールが開始されます。

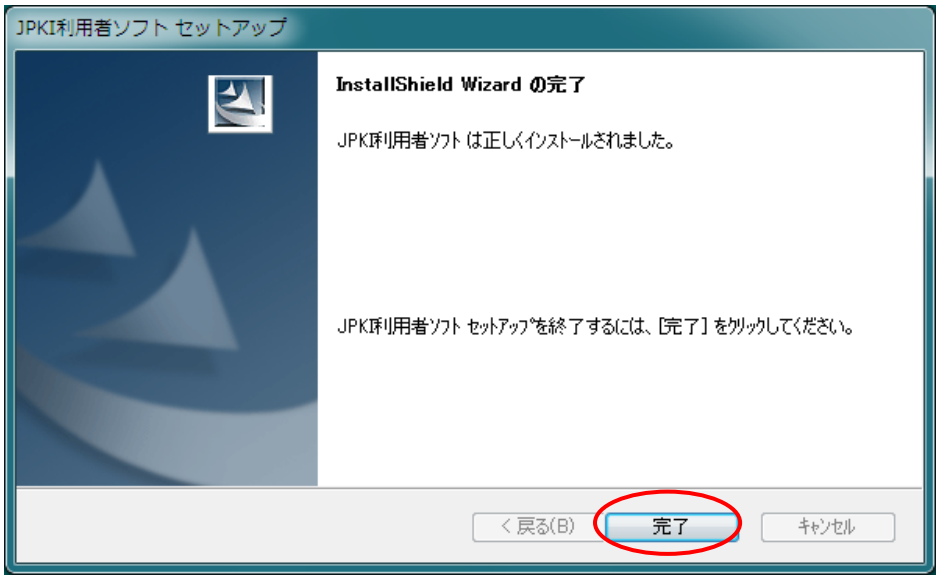



（注意事項）

JPKI 利用者ソフトを再インストールする場合、以下の上書き確認メッセージが表示される場合があります。【はい(Y)】ボタンをクリックしてください。



(9) インストールが完了しました。【完了】ボタンをクリックしてインストールを終了してください。




（注意事項）

JRE（Java の実行環境）がインストールされている場合は、一部機能を利用するために必要な JPKI 利用者ソフトのプログラムが登録されます。なお、JRE（Java の実行環境）への JPKI 利用者ソフトのプログラム登録は、JPKI 利用者ソフトのインストール後にも行うことができます。一部機能を利用する場合は、JRE（Java の実行環境）をインストールした後、JPKI 利用者ソフトのヘルプ等から「Java 実行環境へ登録する」を参照し、ユーティリティの「Java 実行環境への登録」を実行してください。

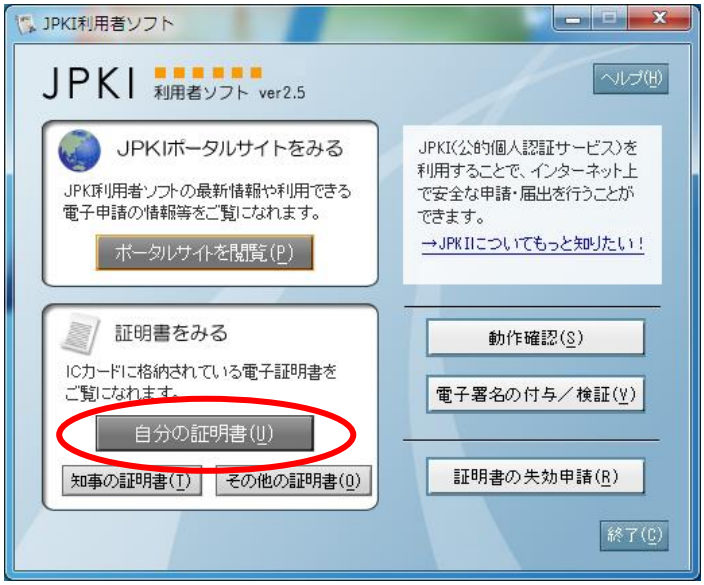
## 第４章　JPKI 利用者ソフトの起動

JPKI 利用者ソフトを起動します。(本章では、Windows7 SP1 をお使いの場合の例を示します。)

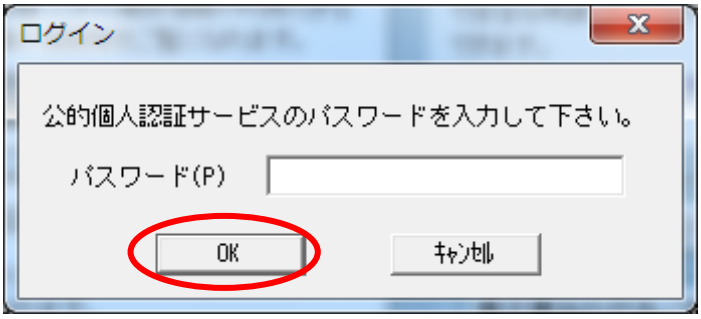
(1) 公的個人認証サービスの電子証明書が格納された IC カードを IC カードリーダライタに挿入します。

(2) JPKI 利用者ソフトを起動します。[スタート] → [すべてのプログラム (P) ] → [公的個人認証サービス]から[JPKI 利用者ソフト]を起動します。

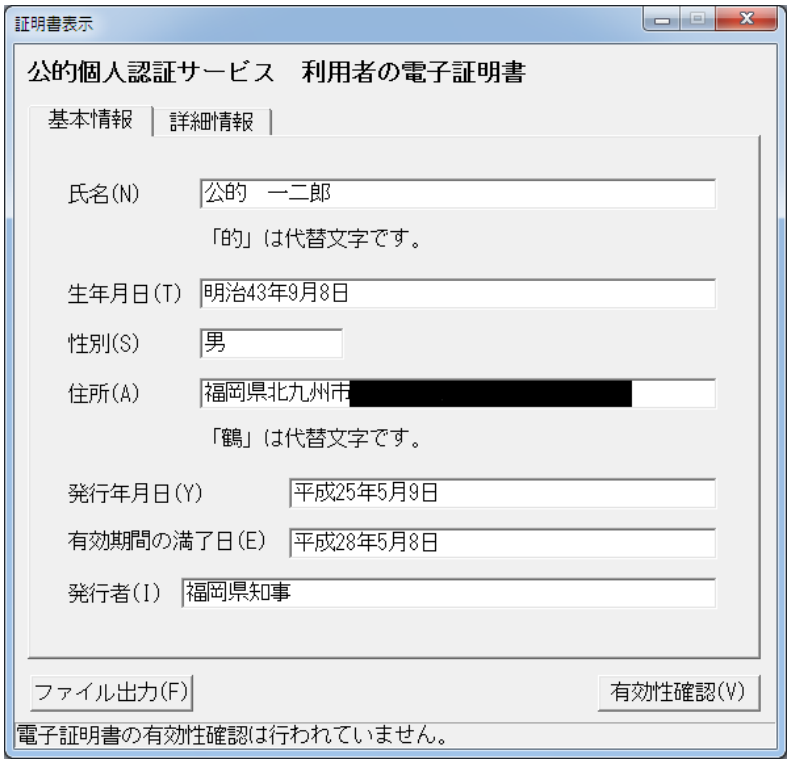
(3) メニュー画面が表示されますので、【自分の証明書(U)】ボタンをクリックします。




(4) パスワードの入力ダイアログが表示されます。公的個人認証サービスのパスワードを入力し、【OK】ボタンをクリックします。



(5) IC カードに格納された自分の電子証明書の内容が表示されます。



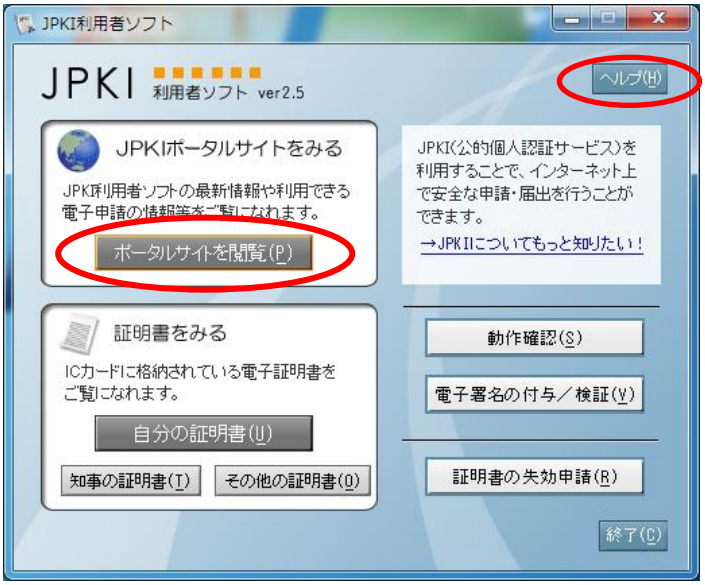

正しく表示された場合は、【×】ボタンを押して証明書表示画面を閉じてください。

（注意事項）

正しく表示されない場合は、IC カードリーダライタのセットアップが正しく行われていないこと等が考えられます。セットアップ手順等に誤りがないことを確認してください。

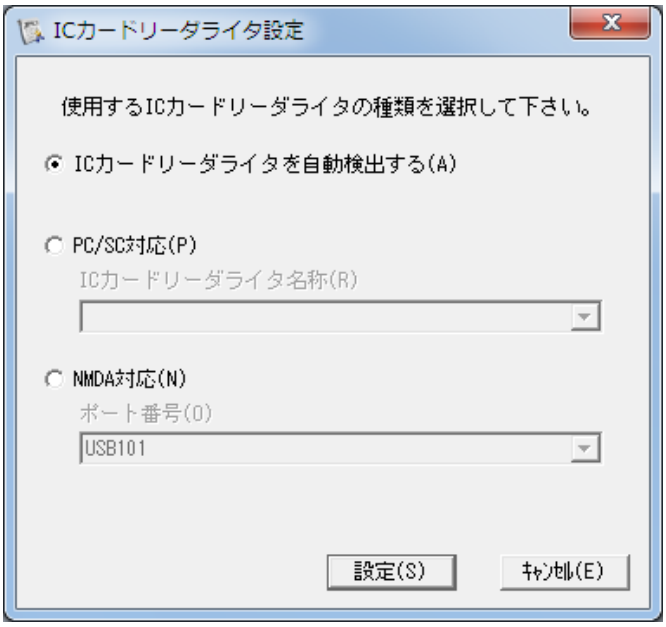
エラーの詳細については JPKI ポータルサイトをご確認ください。

(6) メニュー画面に戻りますので、各機能の詳細な操作手順を知りたい場合はヘルプや JPKI ポータルサイトを参照してください。




（注意事項）

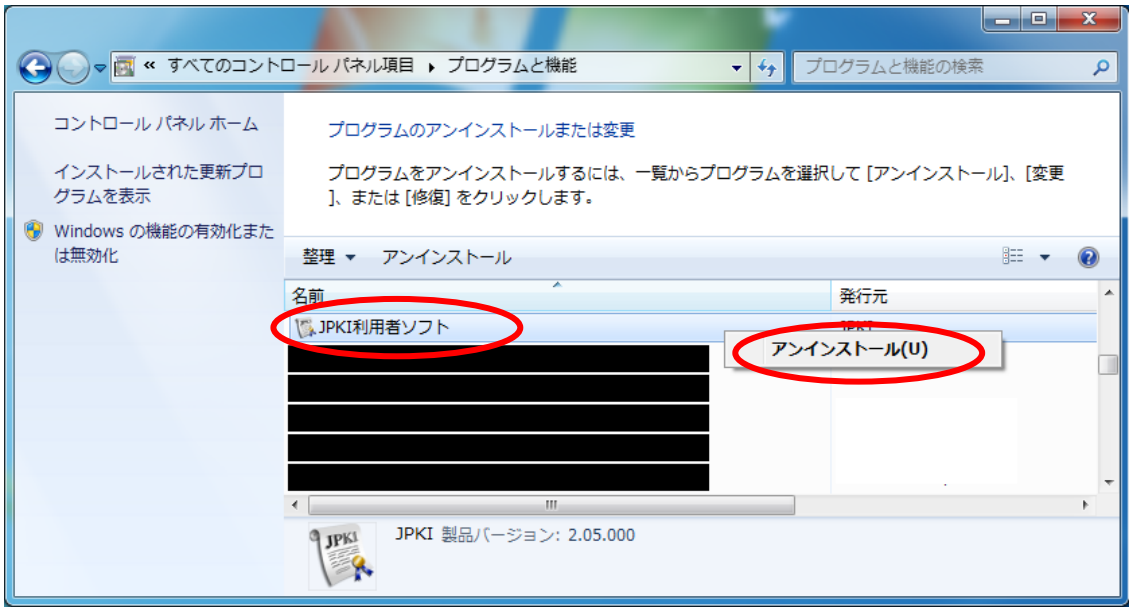
JPKI 利用者ソフト Ver2.3 以降の場合、初期設定では「IC カードリーダライタを自動検出する(A)」が選択されており、パソコンに接続された IC カードリーダライタを自動検出します。IC カードリーダライタのドライバソフトウェアがインストールされていない場合や IC カードリーダライタがパソコンに接続されていない場合は、自動検出が行われません。また、IC カードリーダライタの機種によっては、自動検出が行われない場合があります。そのような場合は、必要に応じて手動で IC カードリーダライタ設定を行ってください（付録 3 参照）。



## 第５章　JPKI 利用者ソフトのアンインストール

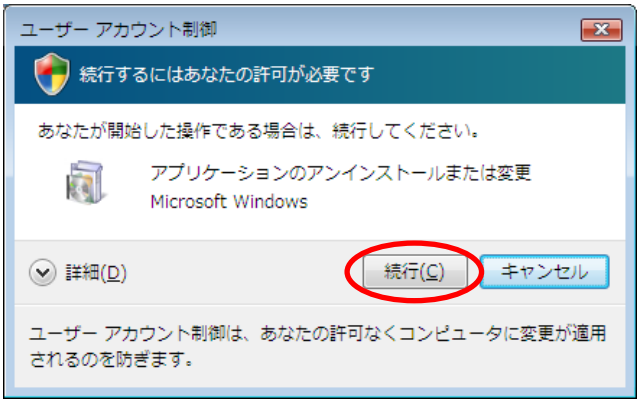
JPKI 利用者ソフトのアンインストールを行います。(本章では、Windows7 SP1 をお使いの場合の例を示します。)

(1) [スタート]→[コントロール パネル(C)]を開き、[プログラムと機能]アイコンをクリックします。以下の画面が表示されるので「JPKI 利用者ソフト」を右クリックし、【アンインストール】をクリックしてください。

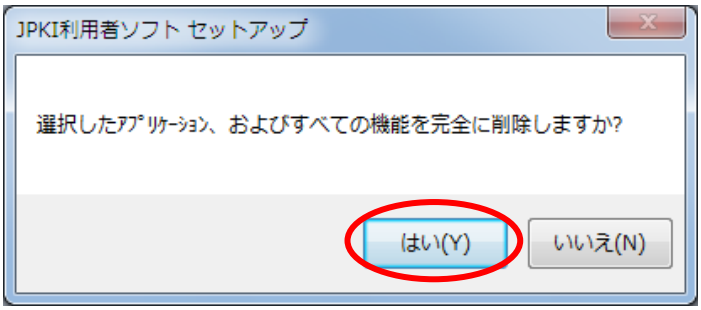


（注意事項）

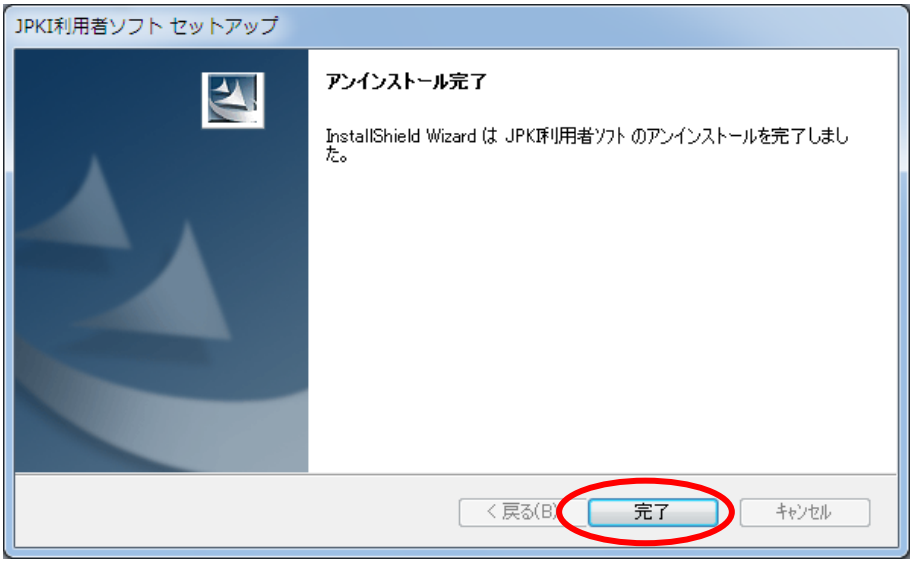
WindowsVista 以降をお使いの場合はユーザーアカウント制御ダイアログが表示される場合があります。【続行(C)】ボタンをクリックすると JPKI 利用者ソフトセットアップダイアログが表示されます。




(2) JPKI 利用者ソフトセットアップダイアログが表示されます。【はい(Y)】ボタンをクリックするとアンインストールが開始されます。

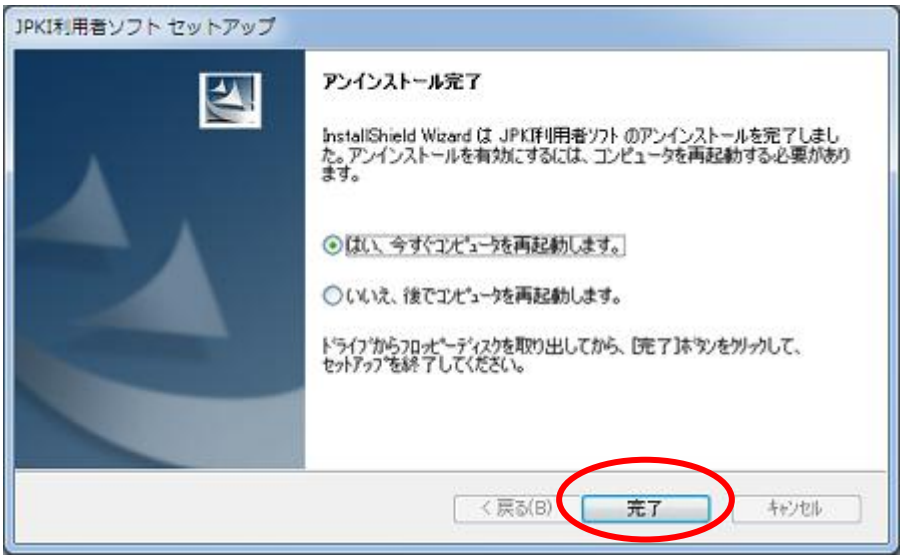


(3) アンインストールが完了すると以下の画面が表示されます。【完了】ボタンをクリックしてアンインストールを終了してください。



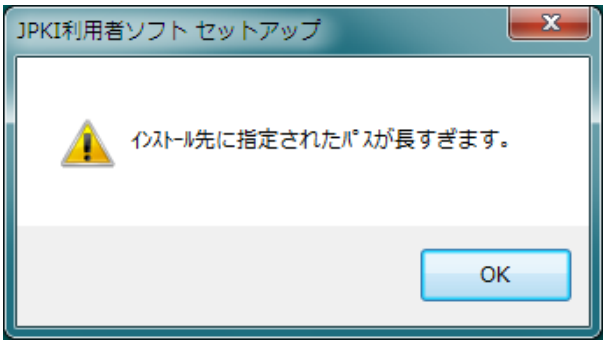

（注意事項）

アンインストール完了後、以下の画面が表示される場合があります。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、【完了】ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。



## 付録１．システム環境変数「Path」値の長さの制限について

JPKI利用者ソフトのインストーラは、システム環境変数のPath(以下、Path環境変数)にJPKI利用者ソフトのインストールパスを追記しますが、追記する時に長さの制限を超える場合に以下のエラーダイアログが表示され、インストールが中止されます。




この場合、インストール前にPath環境変数の中から不要な値を事前に削除するなどして、既存のPath環境変数に、JPKI利用者ソフトのインストールパスを追記した時の値の長さが下表に示す制限値以下になるよう調整してください。

Path環境変数の中の不要な値の判断はWindowsに関する技術知識が必要であり、インストールされているソフトウェアの種類や設定されている値に応じて異なります。また、誤って値の調整に失敗するとパソコンの動作に支障をきたすことがありますので、作業に不安のある方はWindowsに関する技術知識のある方に相談するなどしながら、注意して作業を行って下さい。

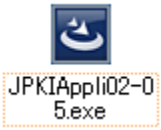
| OS の種類 | Path 環境変数の長さの制限 |
|---|---|
| Windows 8(32/64bit) | 2047 文字以下 |
| Windows 7 ServicePack1 (32/64bit) | 2047 文字以下 |
| WindowsVista ServicePack2 | 2047 文字以下 |
| WindowsXP ServicePack3 | 2047 文字以下 |

## 付録２．アップデートについて

旧バージョンなどの JPKI 利用者ソフトが既にインストールされている環境にインストール（アップデート）する場合、以下の手順の通りに画面が表示されます（インストール先の選択はできません)。

(1) Windows 上で起動しているすべてのソフトウェアを終了します。(それぞれのソフトウェアの終了方法については、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。)

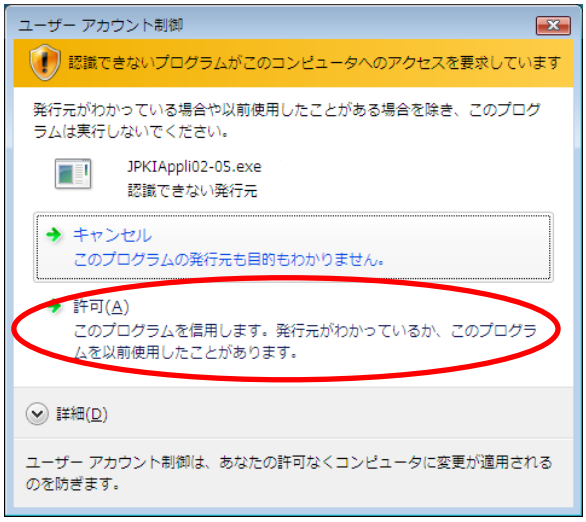
(2) JPKI ポータルサイトからダウンロードしたエクスプローラ等を利用し、実行ファイル“JPKIAppli02-05.exe“をダブルクリックしてインストーラを起動してください。




WindowsVista 以降をお使いの場合はユーザアカウント制御ダイアログが表示されます。WindowsVista の場合【続行(C)】、Windows7 または Windows8 の場合は【はい(Y)】ボタンをクリックすると JPKI 利用者ソフトセットアップダイアログが表示されます。

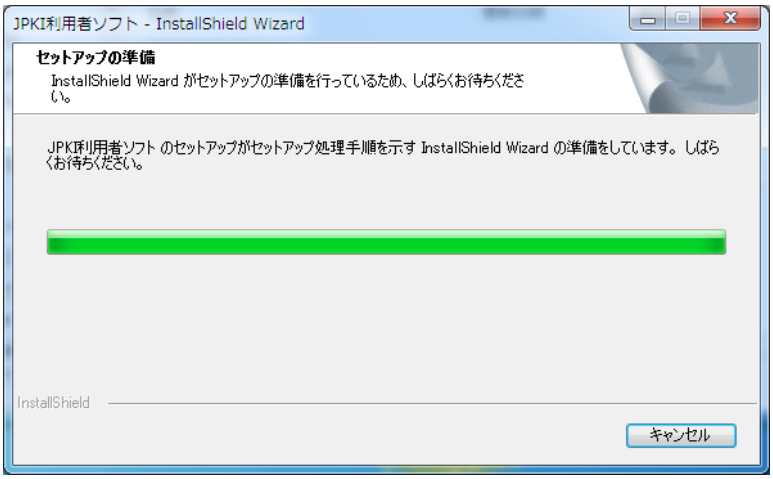
（注意事項）

WindowsVista 以降をお使いの場合、以下のユーザーアカウント制御ダイアログが表示される場合があります。

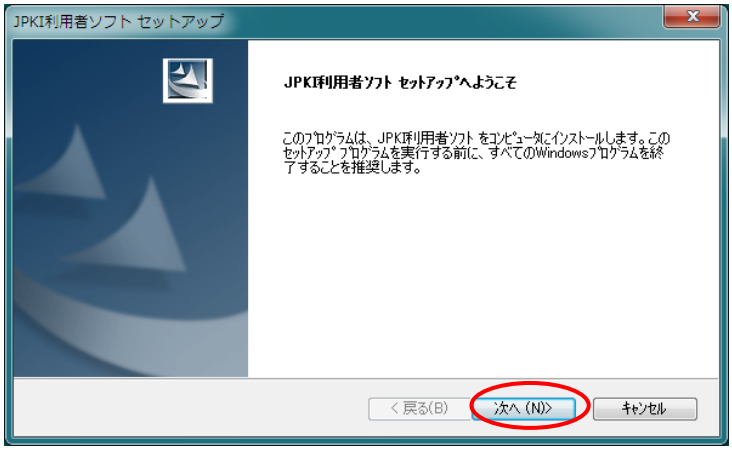



JPKI ポータルサイトからダウンロードした“JPKIAppli02-05.exe“を実行していることを確認し、【許可 (A)】ボタンをクリックすると、JPKI 利用者ソフトセットアップ画面が表示されます。

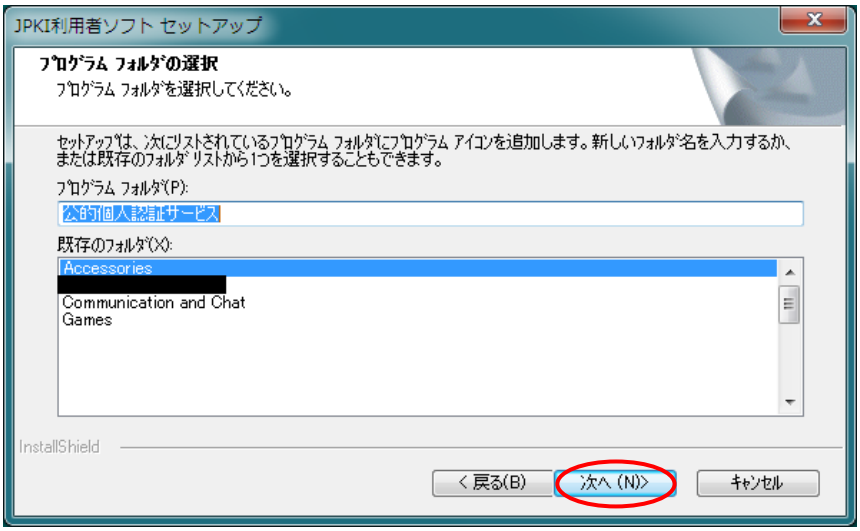
(3) JPKI 利用者ソフトセットアップ画面が表示されます。



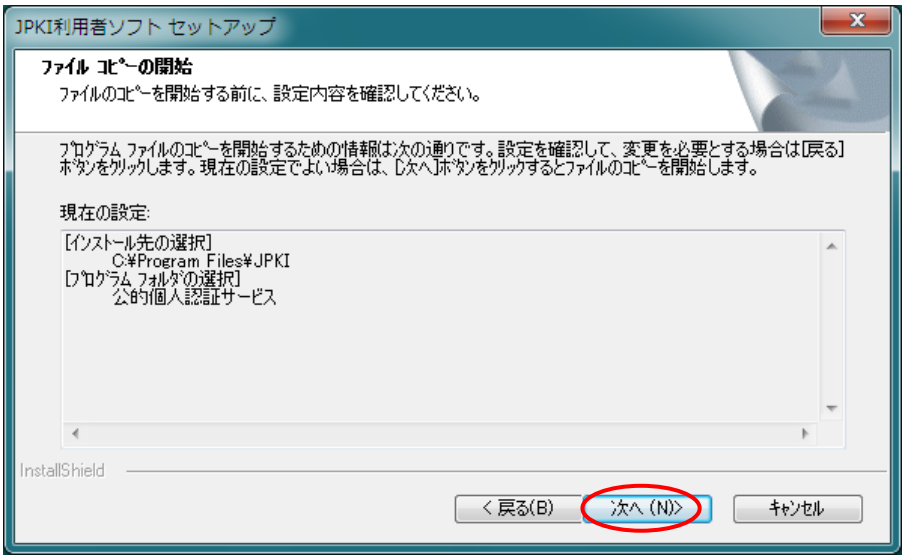
(4) 【次へ(N)】ボタンをクリックして、次画面に進みます。



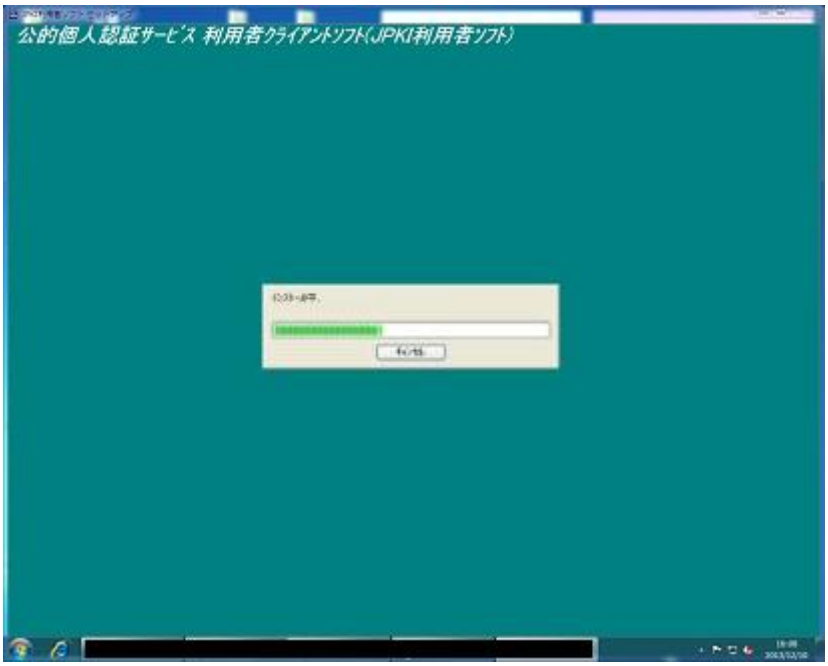

(5) プログラムフォルダを確認し、【次へ(N)】ボタンをクリックして次画面に進みます。
プログラムフォルダ名を変更する場合は、“プログラムフォルダ”欄に変更するフォルダ名を入力してください。



(6) 設定内容を確認し、【次へ(N)】ボタンをクリックして次画面に進みます。

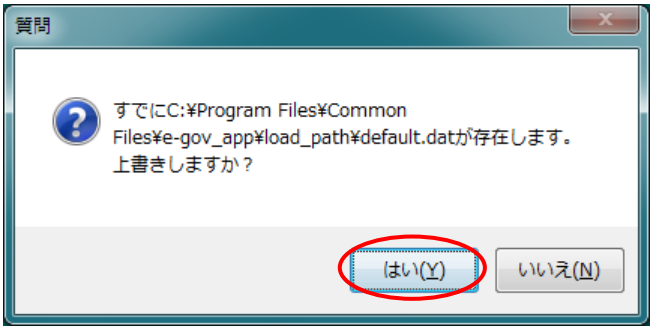



(7) JPKI 利用者ソフトのインストールが開始されます。



（注意事項）

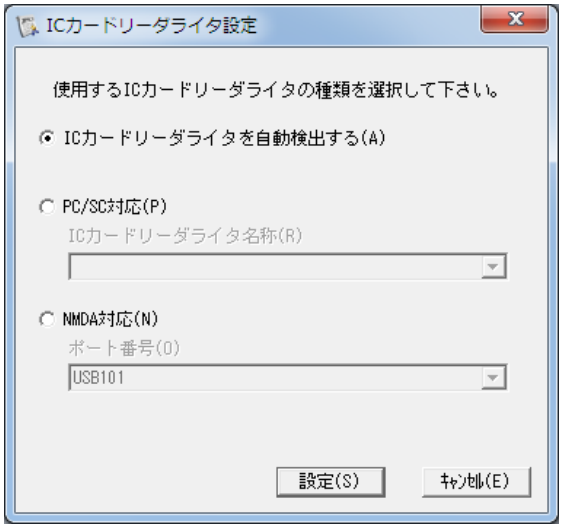
JPKI 利用者ソフトを再インストールする場合、以下の上書き確認メッセージが表示される場合があります。【はい(Y)】ボタンをクリックしてください。



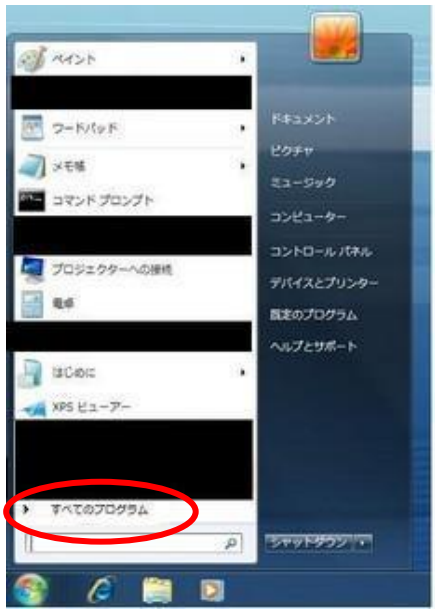
## 付録３．IC カードリーダライタ設定について

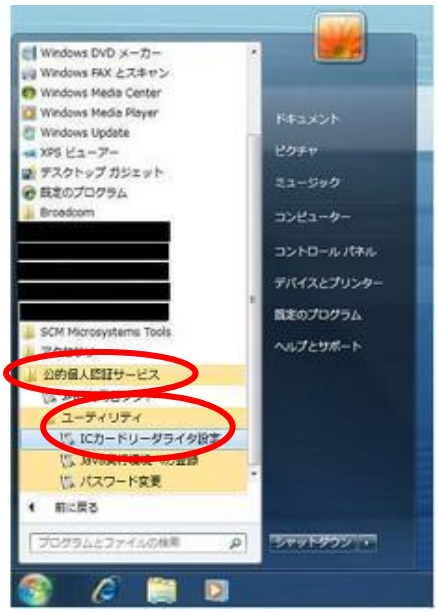
ICカードリーダライタの自動検出ができない場合は、下記手順でICカードリーダライタを手動設定してください。

（注意事項）
初期設定では「IC カードリーダライタを自動検出する(A)」が選択されています。基本的には設定を変更する必要はありません。IC カードリーダライタの自動検出ができない場合は、以下の手順で IC カードリーダライタを手動設定してください。

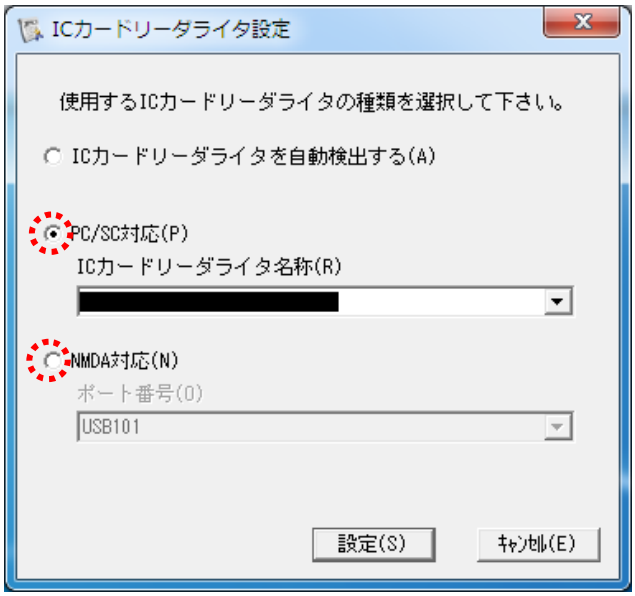



(1)　［スタート］→［すべてのプログラム（P）］→［公的個人認証サービス］→［ユーティリティ］から［IC カードリーダライタ設定］を起動します。

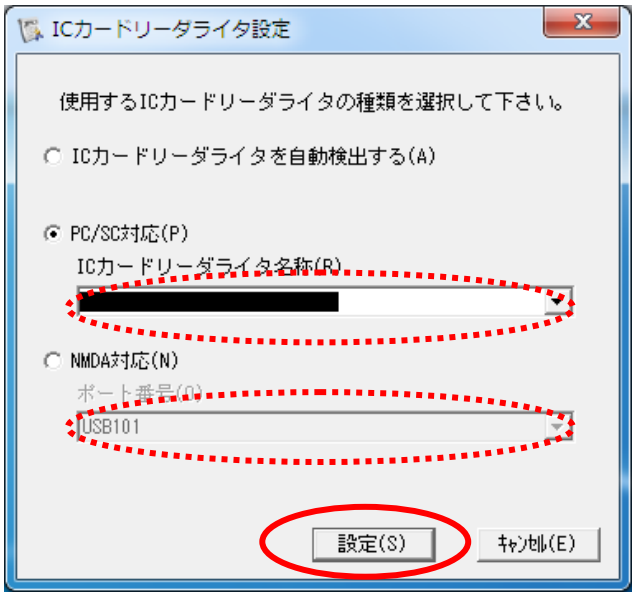


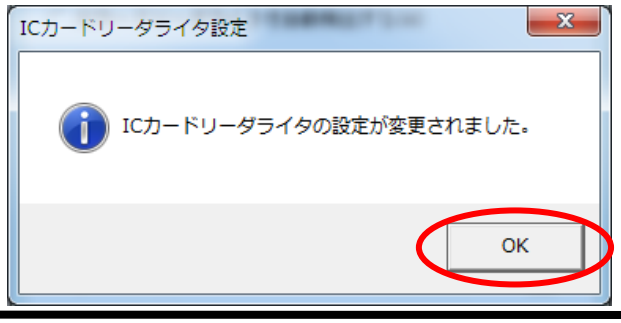
(2) お使いになる IC カードリーダライタのドライバインターフェースを確認し、「PC/SC 対応(P)」または「NMDA 対応(N)」のどちらかを選択します。(ドライバインターフェースについては、市区町村窓口で配布された資料や JPKI ポータルサイトなどを参照してください。)




(3) プルダウンメニューからお使いの IC カードリーダライタを選択し、【設定(S)】ボタンをクリックします。




(4) 設定完了ダイアログが表示されるので【OK】ボタンをクリックします。



禁・無断転載

公的個人認証サービス　利用者クライアントソフト Ver2.5
インストール手順書

第 1.0 版

（注意事項）

※利用者クライアントソフトの著作権は、総務省、公的個人認証サービス都道府県協議会が保有しており、国際著作権条約及び日本国の著作権関連法令によって保護されています。

※利用者クライアントソフトの利用に当たっては、次に掲げる行為を禁止します。

(1)　利用者クライアントソフトを電子申請・届出等の行政手続等以外の目的で利用すること。

(2)　利用者クライアントソフトに対し、総務省、公的個人認証サービス都道府県協議会に許可なく改造等を行うこと。

※総務省、公的個人認証サービス都道府県協議会、（財）自治体衛星通信機構は、利用者が利用者クライアントソフトを利用したことにより発生した利用者の損害及び利用者が第三者に与えた損害について、一切の責任を負いません。

※商標については次の通りです。

(1)　Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

(2)　その他、記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。